

2025(令和 7)年度 事業所評価結果

- 保護者等からの事業所評価の集計結果
(児童発達支援／放課後等デイサービス)
- 事業所における自己評価結果
(児童発達支援／放課後等デイサービス)
- 事業所における自己評価総括表
(児童発達支援／放課後等デイサービス)

2026(令和 8)年 2 月 26 日

一般社団法人 虹色
こどもデイサービス夢色 坂ノ市事業所

【公表】保護者等からの事業所評価の集計結果（児童発達支援）

事業所名		公表日				利用児童数	回収数	
こどもデイサービス夢色 坂ノ市事業所		令和8年2月26日				11	8	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	7			1	十分な広さだと思う。	安全面を考え、死角になる場所を減らし支援ができる環境提供を心掛けています。	
	2	7	1					
	3	5	2		1	環境に合わせていく力もついて欲しいなと思うので、危険に対して手立てが講じられるので、そのまま良いと思います。	お子様の持っている力や特性に合わせて工夫し、施設のバリアフリー化を考えています。職員のサポートする力も養われる状況で共に成長させてもらっています。	
	4	8				きちんと整理されていて、幼児も活動がしやすい空間となっている。	子どもたちが気持ちよく活動ができるように職員一同環境整備しています。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	8				先生方が子供をよく見て、各専門の先生がいて細やかな支援をしてくれている。動画で活動や生活の一部をみることで、子供を通して成長があり、先生方の有難みを感じています。	個別活動：言語聴覚士・作業療法士による成長発達に合わせた活動が定着しています。 生活・集団活動：保育士・児童指導員が寄り添い支援を進めています。	
	6	8				就学に向け訓練がよくできている。		
	7	8						
	8	8						
	9	7	1					
	10	8					訓練メニューが良く考えられている。年間を通しての活動（夏祭り・運動会・クリスマス会）は固定しても構わないと思います。	年間の行事活動について、ご利用の皆さんが週5日利用できる状況ではないので調整が必要な場合があり、ご理解ご協力を得て計画調整ができればと考えています。
	11	3	1	2	2		感染症等へ配慮が必要で地域の園との交流が難しい状況ですが、外出支援活動での地域交流は進んでいます。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	8						
	13	8						
	14	6	1	1			家族支援相談・連絡帳でのやり取りで家族支援を進めています。各利用者、月1回希望者のみ家族相談支援を受けています。	
	15	8					連絡帳に活動の様子が細かく記入されており一日の様子が理解しやすい。	お子様とのコミュニケーションに役立ててもらい、安心して成長を応援してもらえるように進めています。
	16	8						
	17	7				1		
	18	6	1		1		今年度は保護者との交流機会が多く助かりました。共通の場所があるのは本当に助かります。	保護者会・季節の行事の開催について、お知らせをしておりますのでご参加していただくと幸いです。
	19	7				1	親身に相談のってくれる。	いつでも、お声掛けください。
	20	8						日頃からの連携に感謝しております。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	1			避難訓練も、きちんとしてくれている。夢色だよりから行事予定が把握できている。	連絡帳や配布物ファイル・事業所LINEにて、お知らせ等を入れていきますので確認をお願いします。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7	1			情報の取り扱いに気をつけて下さい、と連絡があった。	
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8				夢色だよりやLINEで訓練の様子を知らせてくれている。	活動の内容にも取り入れ周知につなげています。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	1			取り組んでもらえている。	訓練内容は連絡帳・事業所LINE等でお知らせをしています。
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7	1			あぶない物は見えないようにしていた。	子どもの安全確保するための計画は、ゆめいろだよりとサービ担当会議時に周知させていただいています。
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6	1		1	電話・LINEで連絡があり対応がはやかった。	様々な連絡方法で迅速に連絡を心掛けています。
満足度	27 子どもは安心感をもって通所していますか。	8				毎日、楽しそうに通っている。	
	28 子どもは通所を楽しみにしていますか。	8					
	29 事業所の支援に満足していますか。	8					

その他のご意見

いつも、子どもの話を聞いてくれることが分かります。子どもが安心して「今日は何した」と伝えてくれるのが楽しみです。自分でできたこと、できるようになったこと、やってみようなど挑戦する気持ちを大切にもらえていて感謝しています。

【公表】事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名		こどもデイサービス夢色 坂ノ市事業所		公表日	令和8年2月26日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		以前車いす児童がいたが職員の手助けてスロープ等がなくても自立を促せた。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	朝・夕と職員が清掃等を心掛けている。時間を設け手の行き届かない場所を清掃するようにする。	手の行き届かないところにホコリがたまっている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		常時、個室が使用できるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1		新しく入社された方への説明が間に合わなかった。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1		第三者による外部評価は本部からの促しを待っている状況。新しく入社された方への説明が間に合わなかった。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		業務時間内に研修機会をくださるのは有難い。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		個別計画を全職員が把握して共通した支援が行えている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		日誌・記録等フォーマット確認ができています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		毎月、活動内容を考えている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		季節によって色々な活動を行っている。SST・ST・OT・保育指導がそれぞれプログラムされている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	就業前ミーティングで活動内容の共有ができています。	不在の職員への通達（事業所LINE等を含む）	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	支援終了後ミーティングで支援の振り返り、打ち合わせ次の日の職員への通達ができています。	不在の職員への通達（事業所LINE等を含む）	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	2	感染症等の配慮が必要で、こども園等とのタイミングが難しい状況である。外出支援活動を通して地域のお子様との交流を深めている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		連絡帳等で共有している。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7			
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		保護者からの相談を受け職員が直接返答できない場合は責任者に報告をして対応を行っている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		ゆめいろだより・事業所LINE等で行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		近隣の交流が多く、とても良い環境だと思う。年間行事に地域の方々を招待している。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			経験不足なあり色々な想定をして訓練計画をしたい。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		年間スケジュールで進めている。	BCPの理解を進める。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハットがあった場合は速やかに報告・記録記入し再発防止に努めている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		定められた職員研修があるので理解につながるようにすすめている。伝達研修が充実している。	児童発達支援ガイドライン等を再度確認する機会を設ける
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		定められた職員研修があるので理解につながるようにすすめている。伝達研修が充実している。	児童発達支援ガイドライン等を再度確認する機会を設ける	

【公表】事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○ 事業所名	こどもデイサービス夢色 坂ノ市事業所			
○ 保護者評価実施期間	令和8年2月3日		～	令和8年2月16日
○ 保護者評価有効回答数	対象者数	11	回答者数	8
○ 従業者評価実施期間	令和8年2月3日		～	令和8年2月6日
○ 従業者評価有効回答数	対象者数	8	回答者数	8
○ 事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月6日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援計画が職員に共有されていること	具体的な支援手順や見通しを立て計画的に反復段階的に支援する力を定着できることを意識し継続できるように協力して支援する取り組みをしている。	言語聴覚士・作業療法士による専門的な視点からのアドバイスを取り入れ支援をする。
2	活動プログラムを毎月チームで立案している	アセスメント（現状の把握）子どもの特性・発達に合わせた内容と5領域から目標に沿った活動を考え職員も子ども達も楽しみながら出来るプログラムを立案している。	言語聴覚士・作業療法士による専門的な視点からのアドバイスを取り入れ季節の行事や様々な経験ができる内容を職員で試案しスキルアップできるように努力する。
3	保護者会・地域の方々との交流	季節の行事（修了式・夏祭り・運動発表会・クリスマス会）事業所に招待をし交流が図れていること。活動での外出支援（公園・地域行事の参加等）での交流。保護者が行事参加し楽しい時間を過ごす環境作りに取り組んでいること。	保護者（祖父母・親戚等）地域の高齢者・児童との交流で社会性の向上や地域の方々との理解を深められるように職員で意識を持ち進める。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	新しい職員へ義務化された様々なマニュアルの周知	子育て中の職員が多く研修時間が取れず周知が遅れ気味となっていること。	業務内で時間を取り周知できる時間の確保を考える。
2	業務継続計画（BCP）を職員に周知する	毎月のプログラムに入る定期的な訓練内容を見直し実施し夢色だより・連絡帳等で保護者にも周知してもらえるようにする。	活動プログラム立案時にBCPについても話し合い理解をすすめる。
3			

【公表】保護者等からの事業所評価の集計結果（放課後等デイサービス）

事業所名		公表日				利用児童数	回収数
こどもデイサービス夢色 坂ノ市事業所		令和8年2月26日				9	6
	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	6					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6					
適切 な支 援の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	1	1	1	よくわかりませんが、特にそのような機会はないように思います。	感染症等への配慮が必要で、なかなかタイミングが合わない状況ですが、外出支援活動では地域の子ども達との交流は進んでおります。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6					
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	6					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	1				長期休暇中に保護者会を開催していません。お知らせは、ゆめいろだより・配布物ファイル・事業所LINEでしております。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6					
20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6						

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6					
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思えますか。	6					
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6					
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6					
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	6					
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	6					
満足度	27 子どもは安心感をもって通所していますか。	6					
	28 子どもは通所を楽しみにしていますか。	6					
	29 事業所の支援に満足していますか。	6					

その他のご意見

【公表】事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名		こどもデイサービス夢色 坂ノ市事業所		公表日	令和8年2月26日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		安全確認ができるように死角を減らしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		常時、個室が使用できるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		毎月、職員で考え立案している。専門的な意見を取り入れている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		発達・特性に合わせ、様々な視点から固定化しないように工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	4			
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4		サービス担当者会議後等に伝達を受けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4		外出支援等で地域とつながる機会を増やしている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4		アセスメント確認・ミーティングをして共通の理解をしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4			
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		家族相談支援でご家族が来所されているときなどに行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4		なかなか日程が合わない。	保護者の仕事の関係で保護者会等の日程調整が上手く進まないのので、相談し無理なく開催できるように進めたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		ゆめいろだより・LINE・連絡帳を活用している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	44 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		ミーティング等をして理解に努めている。	
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4		季節の行事等に招待している。	
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		BCPの記録する。	職員の理解につなげたい。
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4			
	49 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4			
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		出入口のインターフォンを顔の確認ができ、録画できる物に交換をした。	
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4				

【公表】事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○ 事業所名	こどもデイサービス夢色 坂ノ市事業所		
○ 保護者評価実施期間	令和8年2月3日		令和8年2月16日
○ 保護者評価有効回答数	対象者数	9	回答者数 6
○ 従業者評価実施期間	令和8年2月3日		令和8年2月16日
○ 従業者評価有効回答数	対象者数	4	回答者数 4
○ 事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月16日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にしている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援計画が職員に共有されていること	具体的な支援手順や見通しを立て計画的に反復段階的に支援する力を定着できることを意識し継続できるように協力して支援する取り組みをしている。	言語聴覚士・作業療法士による専門的な視点からのアドバイスを取り入れ支援をする。
2	活動プログラムを毎月チームで立案している	アセスメント（現状の把握）子どもの特性・発達に合わせた内容と5領域から目標に沿った活動を考え職員も子ども達も楽しみながら出来るプログラムを立案している。	言語聴覚士・作業療法士による専門的な視点からのアドバイスを取り入れ季節の行事や様々な経験ができる内容を職員で試案しスキルアップできるように努力する。
3	保護者会・地域の方々との交流	季節の行事（修了式・夏祭り・運動発表会・クリスマス会）事業所に招待をし交流が図れていること。活動での外出支援（公園・地域行事の参加等）での交流。保護者が行事参加し楽しい時間を過ごす環境作りに取り組んでいること。	保護者（祖父母・親戚等）地域の高齢者・児童との交流で社会性の向上や地域の方々との理解を深められるように職員で意識を持ち進める。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会	児童発達支援の頃は頻りに保護者会や行事の参加がありましたが仕事や介護等でなかなか参加できない状況がある。	放課後等の保護者向けの時間設定で開催できるように保護者様と相談をする。
2	新しい職員へ義務化された様々なマニュアルの周知	子育て中の職員が多く研修時間が取れず周知が遅れ気味となっていること。	業務内で時間を取り周知できる時間の確保を考える。
3	業務継続計画（BCP）を職員に周知する	毎月のプログラムに入る定期的な訓練内容を見直し実施し夢色日より・連絡帳等で保護者にも周知してもらえようとする。	活動プログラム立案時にBCPについても話し合い理解をすすめる。